

大災害に立ち向かう

“防災減災対策”最前線

～東日本大震災から 15 年、大正泥流から 100 年。

過去に学び、未来を守る～

死者行方不明者 2 万人以上にのぼった東日本大震災から 15 年、
20 世紀以降最大の火山災害となった十勝岳噴火大正泥流から 100 年。
私たちはあの日から何を学び、次の大災害にどう備えてきたか？

NHK 前解説委員の松本氏と、北海道大学の南里氏が、災害形態や避難実態、
当時見えてきた課題、その後の対策の進展など「**防災の最前線**」をホンネで語ります。

4 月 16 日 (木) 16:00～17:30

開催方法：オンライン開催 (zoom)

お申込方法：下記 URL または QR コードよりお申し込みください (事前登録制)

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/meeting/register/ZmQ1jwVuTvuD29Bma9StQg>



登録後、ミーティング参加に必要な情報確認メールが届きます。

話題提供者：松本 浩司 氏

(前日本放送協会解説委員、北海道大学広域複合災害研究センター 客員教授)

「東日本大震災 15 年～津波警報の伝達と葛藤」

話題提供者：南里 智之 氏

(北海道大学広域複合災害研究センター 特任教授)

「大正泥流から 100 年～現象解明と対策の現状」

【お問い合わせ先】日本自然災害学会北海道世話人 北海道大学 厚井高志・中嶋唯貴

e-mail koi@agr.hokudai.ac.jp (厚井)

